

## 令和8年01月18日(日)樹木診断相談会 報告

会員:小田急浜野団地自治会

戸建て 会員戸数:133戸

住所:千葉市中央区村田町12-15「のぎわ会館」

## 樹木診断の希望内容

自治会「のぎわ会館」の多目的エリアにある樹木(特に枝垂れ桜など)の剪定方法や管理についてアドバイスいただきたい。  
希望宅の樹木も診ていただきたい。

## 樹木診断相談会の流れ

13時半に集会所に集まっていたいただき、挨拶の後、樹木医大矢先生より敷地内の樹木を見ながらアドバイスをいただいた。  
その後、希望宅の庭に移動し診ていただき、集会所に戻り質疑応答を行ない15時に終了した。19名の参加があった。

なお、2025年10月05日に当協議会の活動内容などを説明する訪問説明会を開催した。→ [訪問説明会\(PDF:479KB\)](#)

## 樹木診断相談会の様子



↑  
剪定方法のアドバイス

↑  
肥料をやる場合の位置などのアドバイス



## 枝垂れ桜

枝が垂れる理由は、ジベルリンというホルモンが働かないため、強い風などを受け流すことができるようにする自己防衛本能の一つであるとの説明があった。

枝は一度伸びて垂れるので、根本から切れば大きさを制御できる。交叉枝とか絡み枝など、込み入っている部分は間引いてスッキリした方がよい。

アスパラガスの茎の太さ以上の枝の切り口には、防腐剤(ペースト状のトップジンMなど)を塗り腐朽菌の侵入を防ぐことが大切。

剪定の時期は、太い枝は冬に、細かい枝は花が終わった後がよい。

参考資料 ↓ 千葉県さくらの会発行の冊子  
[「さくらの植樹と管理」\(PDF:2.888KB\)](#)



ナツメ



隣の花壇に根が伸びるなど不都合もあるとのことだが、しばらく様子を見て対応を決めるとのこと。

### 会館前の垣根



↑  
枯れた垣根(撤去した)



#### ← ハムシによる被害

- ・ハムシは甲虫の仲間で、成虫も幼虫も葉を食い荒らす

#### ハムシの駆除&防除法

1. 成虫を見つけたら物理的に捕殺
2. 食害を受けた葉や枝は剪定して取り去ってしまう  
(被害を受けた葉や枝は産卵されていることがあるので剪定して、取り除くことが基本の防除法)
3. 適用のある薬剤を使う



#### 蔓バラ(個人宅)

- ゴマダラカミキリ虫の被害についてのアドバイス:  
→カミキリ虫スプレーを侵入している穴より吹き付け駆除する。  
→蔓バラの枝は、45度より低めに倒すとよい。

#### 個別の質疑: 集会所で以下のような個別の質疑を行いました。

- ・ビワの木の樹皮が剥がれる現象について
- ・カリンの実に虫の侵入を防ぐ方法について
- ・柿の幹の炭疽病の対応について
- ・花が咲いた後全部落ちる生理落下現象について
- ・地衣類(菌類と藻類が共生した植物)のことなど (詳細省略)



↑

#### ゴマ色斑点病

- ・レッドロビン(ベニカナメモチ)でよく見られる代表的な葉の病気で原因は糸状菌(カビ)。  
対処方法: まずは物理的対策(最優先)
- ・病葉の除去と回収
- ・落ち葉も必ず掃除(放置→感染源となる)
- ・透かし剪定  
刈り込みでなく、内部に風が通るようにする



マサキ (近隣個人宅)



#### 剪定についてのアドバイス:

- 大きくなり過ぎないように剪定する方法『弱きを助け、強きをくじく』
- ・強き(=勢いが強すぎる枝)  
真上に勢いよく伸びる枝(徒長枝・立ち枝)太く伸びが早い枝は、根本から切る。
- ・弱き(=勢いが弱い枝)  
細く横向き・斜めに伸びている枝で「将来の主役」に育てる枝は残し、樹形をコンパクトに保つ。